

SDGs達成に向けた取り組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 杉浦解体

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具合的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具合的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・当社のミッションである『最高の技術は「解体」から「未来」を生み出す』を社内やHPに掲載・共有し、資源循環型社会の実現に取り組んでいる。								8	9											17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンスの重要性を社内会議にて発信し、社員の意識醸成に取り組んでいる。 ・就業規則に法令遵守の規定を明文化している。 ・就業前にアルコールチェックを実施している。																				16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・役員が見積書や請求書等の最終確認を行い、公正な取引に取り組んでいる。												10								16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として専務取締役を任命し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応している。 ・バリューチェーン分析を実施し、自らの事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握している。																				16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・自社独自のノウハウ等、知的財産や営業秘密保護の為、社内会議の場にて従業員に重要性を発信している。								8.2 8.3	9											16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については事業所内の施設できる場所に保管すると共に、データについてはアクセス制限やパスワードをかけ取締役が管理を行っている。																				16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・ステークホルダーと共に、産業廃棄物の適正処理、再利用の推進に関する取り組みを中心に情報共有を行っている。																		16		17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・事業パートナーと対話を積極的に行い（解体時における使用エネルギーやアイドリングストップの回数等）、自社活動が及ぼす影響について把握し、サプライチェーン全体で環境対策や社会問題に対する取り組みを進めている。					5				8			10			12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCPを策定し、自然災害や事故に備えている。													9			11			13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導、育成に取り組む、事業承継の取り組みを進めている。									8	9											17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5				8						12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則にハラスメントの禁止について規定を設けている。 ・雇用条件や職場環境において差別しない体制・運営を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8			10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・建築物の解体を行う際は、現地調査を行いリスク確認を行うことで事故防止に取り組んでいる。 ・ISO45001を取得し、労働安全衛生の取り組みを行っている。			3					8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		・正社員やパートの雇用形態に関わらず、賃金体系を定め、同一労働・同一賃金の原則に沿って対応している。					5.5			8.5			10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時間外労働の削減や、テレワークを導入すると共に、柔軟な休暇取得を実施することでワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5 8.8			10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・重機の資格取得、外部研修の受講を推奨すると共に、必要経費を支給している。 ・危機管理講習や石綿の安全管理講習を受講し、従業員の能力開発に取り組んでいる。				4	5.5			8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・事業所内での分煙や人間ドックの費用補助を行い、健康経営に取り組んでいる。 ・屋外での作業者についてはこまめに休憩を取る等、熱中症対策に取り組んでいる。			3					8												17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・定年延長による高齢者雇用、女性社員の積極的な雇用によりダイバーシティ経営を推進している。				4.4	5.1 5.5			8.5			10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・感染症対策としてテレワーク、WEB会議システムを導入している。			3					8	9.1		11	12										
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・現場管理システムや3DCADを導入し、業務の効率化を図っている。								8	9.1		11	12										
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・【予定】令和5年6月にプライト企業を申請する。				3	4			8	9					12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 杉浦解体

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・解体工事により発生する廃棄物や、有害化学物質を把握し、適切に管理、処理している。 ・ISO14001を取得し、環境汚染予防に取り組んでいる。			3.9			6.3						11.6	12.4			14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガスなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物収集運搬に係る、ルートの見直し及び効率化によりエネルギーの削減に取り組んでいる。 ・【予定】令和5年12月より、簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を把握する。 ・【予定】令和6年4月までに、本社に太陽光発電を導入し、再生可能エネルギーへの切替を行う。								7.3							13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・営業車を全てハイブリッド車に切替、温室効果ガスの抑制に取り組んでいる。 ・【予定】令和5年12月より、簡易計算シートを用いて、温室効果ガスの排出量を把握する。								7.2 7.3 7.a					12.4	13		14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・解体工事を、その後に建設されるもののための土台作りと考え、環境に配慮した解体工事を実施している。						6.6											14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物の適切な分別、収集、運搬を通じて資源循環型社会の実現に貢献している。												9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・散水時には地下水を再利用したものを活用している。 ・事業所内の節水に取り組んでいる。							6.1 6.3 6.4 6.6 6.b							11.5				14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事業所内で使用する備品についてはグリーン購入対象商品を積極的に購入している。													9.4			12.4 12.5	13		14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●								6.4										12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●																		11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・解体で発生する廃木材についてはバイオマス発電施設へ提供し、再生可能エネルギーの創出に貢献している。									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5				13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6						9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6										11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●																		12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●														9.4			11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●																				11.6 11.a	12.8	13			17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 杉浦解体

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具合的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・解体業務を行う際には、事前に現地調査を実施し、安全確保に取り組んでいる。 ・各現場ごとに管理体制を定め、安全性・品質を確保している。 ・ISO9001を取得し、安全性や品質を確保する仕組みを構築している。			3.9						9			12.4																	
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・現場でのカラーコーン使用の他、製品に誰もが使いやすいフォントを使用し、ユニバーサルデザインを考慮している。									9.1	10	11.7																17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15												17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7						12.2	13.1		15														
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・空き家の解体を行い、工事で発生した廃木材を木質チップに再利用することで再生エネルギーを創出し、社会課題解決に寄与している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15												17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害時の解体工事や災害時に発生する廃棄物の収集など、本業を通じて社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 ・地域の幼稚園や小学校に対し、寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所内に飲料水を備蓄をしているほか、社員の緊急連絡網を作成し、防災対策を実施している。				4						11.5		13.1			16														
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・社内に消防団員が在籍し、地域防災の担い手として貢献している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17												
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1																
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・金融機関との連携により月1回SDGs委員会を開催し、事業活動における環境問題や人権問題をはじめとした社会課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・中学、高校から職場体験の受入れを行い、職業の学びの場を提供している。				4				8.6		10.2																	17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6																			17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2	4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15												17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。